

さえぎるもののない山頂から 目前に聳える暑寒の山々

百松山岳会 / 道央

今野平支郎



周りの地形からピョンと飛び出したような特異な鋭鋒の黄金山。後方には暑寒連峰がドッシリ構えている。浜益実田から

国道451号線を滝川方面に7kmほど行くと実田橋があり、渡つてすぐ左手に登山口の標識がある。ここから林道を4km進ると、30台近く停まれる駐車場があり、立派な休憩所とトイレがある。

登山口からしばらくは傾斜の緩い登山道が続くが、20分くらいで新旧登山道の分岐に出る。ここには清水が湧いており美味しそうだが「飲み水ではありません」と注意書きがある。北海道特有のキツネが媒介するエキノコックス症感染の恐れがあり残念ながら飲めない。

ここから左手が旧道、右手が新道だが、旧道は若干危険なところがあるので今回は新道を紹介する。分岐から右手に入ると、しばらくは緩やかな道だが、尾根に取り付くと距離は短いが急な道になり、息が切れるところだ。このあたりは春先にはサクラソウ、カタクリ、ニリンソウ、シラネアオイなどが咲き誇り疲れを癒してくれる。

頂上直下で旧道からの道が合流し、まもなく切り立った頂上の一角にヒョイと出る。足元が数百

メートルほど切れ落ち高度感があり、慣れないと足がすくむ。頂上へは少し降りて登り返し3分くらいで行ける。見た目より危険はない。

頂上からは目の前にドンと構えた暑寒連峰が控えていて圧倒される。5〜6月頃だと真つ白な雪を纏った郡別岳が真正面に控え、右に南暑寒別岳と尾白利加岳を望む。南には樺戸山地の主峰ピンネシリとカムイシリが、西には石狩湾を挟んで札幌近郊の手稲山、余市岳、朝里岳、遠く積丹岳・余別岳がかすかに望まれる。運がよければ羊蹄山を見ることが出来る。まさに四方遮るものない絶好の展望台だ。



手前のピークから頂上を望む



- 時 登山口 > 20分 > 新道と旧道の分岐 > 80分 > 頂上 > 往路を戻る > 60分 > 登山口
- 交 JR札幌駅から石狩湾沿いに北へ70kmほど。登山口まで車で120分
中央バス札幌ターミナルから日本海のもい号「留萌ターミナル」行きで「柏木」下車、滝川方面へ約6km、国道451号から登山口まで約5km
- 問 石狩市環境課 0133-72-3240
- 湯 浜益保養センター 0133-79-3617 500円 登山道入り口と国道451号線の分岐から浜益実田寄り2kmに「浜益温泉」の大きな看板が出ている。
- 地 浜益

時 参考タイム 交 交通 問 問い合わせ 湯 立ち寄り湯 地 地形図